

空圧落下衝撃試験装置

【ボクスイ・ブラウン社製SM-110-MP】

【設備の特徴】

- ・空圧落下衝撃試験装置は、衝撃波形を発生させ、試料台に取り付けられた試験品にその衝撃波を印加することで、製品の耐衝撃性を試験する装置です。
- ・複数の加速度・パルス幅の衝撃波形を生成することができます。

【設備の仕様概要、技術内容】

■試験方法

- ①試験条件に応じた最適なエラストマー(衝撃吸収体)をセットします。
- ②試験条件に合った試料台高さ・落下圧力、そして試験サイクル数を本体のコントロールパネルで入力します。
- ③設定高さから圧力により試料台をエラストマーに叩きつけ、衝撃波を生成します。
- ④衝撃波形は記録され、データとして持ち帰ることができます。

■仕様

- ・最大搭載重量：90kg
- ・試料台寸法：41×41cm

■試験条件(加速度, パルス幅)

- ・100G, 6msec
- ・50G, 11msec
- ・30G, 18msecまたは11msec
- ・500G, 1msec

■効果が期待される利用分野

【活用例】

- ・機器、部品等の耐久性試験
- ・各種強度試験



装置外観

【設備の利用について】

詳細については当センターにご相談ください。

【お問い合わせ先】

秋田県産業技術センター

電子光応用 情報・電子グループ 丹 健二

TEL:018-862-3414 / FAX:018-865-3949

〒010-1623 秋田県秋田市新屋町字砂奴寄4-11 / <http://www.rdc.pref.akita.jp/>